お手元のスマホでもご覧いただけます。

食品会社が取り組む 食料と競合しない植物由来のバイオ燃料

Biofuels developed by food companies that do not compete with food

（株）J-オイルミルズ

研究開発の概要 Research Highlights

●バイオ燃料の課題の一つとして、可食の原料を活用した場合に食料・飼料価格に影響する懸念がある。そのため、非可食原料の利用が検討されているが、供給量やコスト面で課題が残る。
●この課題解決に向けて、当社は非可食植物のポンガミアとテリハボクに着目し検討している。
●両植物は農地に適さない土地で生育可能である上、油分含量が高い点で優れている。

研究成果と今後の展望

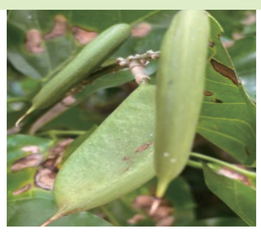
当社の研究成果

●ポンガミアとテリハボクからの搾油・精製およびSAF成分への変換を達成

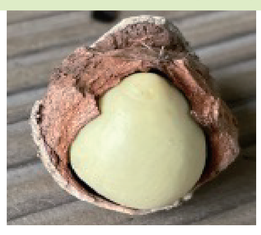
種子確保

沖縄県や海外から原料を確保

ポンガミア種子



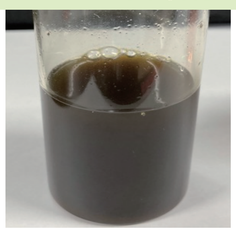
テリハボク種子



搾油

原料の油分を徹底的に低減して搾油

ポンガミア油（精製前）

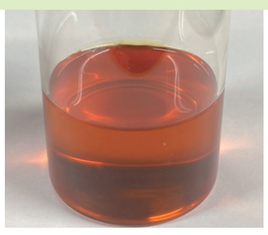


テリハボク油（精製前）

精製

不純物を除去し、当社目標品質をクリア

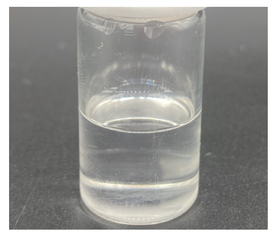
ポンガミア油（精製後）



テリハボク油（精製後）

SAF化

SAF成分を含む画分を得られた



副生物活用

飼料等での活用評価

他組織と事業化へ　→　当社が独自で事業化へ　→　他組織と事業化へ

今後の展望

①SAF製造

●ASTM規格への適合を目指して、SAF化技術を持つ組織と連携

②非可食植物原料の確保

●既存の樹木からの安定的な確保
●更なる拡大に向けた植樹を検討

希望するビジネスマッチング Matching Requests

①SAF調製

●SAF化やSAFの混合に知見があるアカデミアや企業

②非可食植物原料の確保

●既存からの確保:国内外に樹木を持つ、またはそれらの人にアクセス可能なアカデミア等
●植樹による拡大:国内外での植樹やその管理に知見を持つアカデミアやコンサル等の企業
●その他:ポンガミアとテリハボク以外に搾油に課題がある原料を持つ企業やアカデミア等

■オンラインコンテンツ

詳しい情報はこちら→
https://www.j-oil.com/press/article/230828_004233.html

お問い合わせ先	（株）J-オイルミルズ 新事業開発部 Email : JOYL_new_bis_dev@j-oil.com
NEDOプロジェクト名	バイオジェット燃料生産技術開発事業